

茂来山山行記録



熊か？

霧久保沢コース合流点

山頂

目的地	茂来山（長野県南佐久郡佐久穂町）	期 日	平成21年12月12日（土）・曇のち晴れ
山人	笠原正雄、澄子	特 記	御座山に近い山。エアリアマップ西上州掲載の山

地 点 名	時 刻	記 事
与 板 発	午前6時頃	このところ越後はお天気が優れない。日差しを求めて出かける。
佐久 IC～R141		R141を山梨県方向に進むとこの山が形良く見える。丁度、我々が弥彦山を見てい ると同じなのかなと思ってしまう。
R 2 9 9 へ		臼田町を左折して十石峠方向に進む。川久保を過ぎると右側に登山口を示す看板 があった。榎沢コースへの林道に入る。本来なら霧久保沢コースから登るつもり だったが、事前の調査が不十分で、こちらからの上山となった。
榎 沢 登 山 口	10:25 発	榎沢に掛かる橋の手前に営林署の作業プレハブがあり、その脇のスペースに駐め る。榎沢の右岸に沿って広い道が緩やかに登っていて、左手はよく整備された檜 の保安林が続く。
沢を離れて登り		次第に傾斜が増えて来ると、地面が濡れてきて滑りやすい。更に急になるとジグ ザグ道がつけられているが、昨日のものと思われるみぞれが残っていて、更に滑 りやすくなる。薄日が差せば暖かいが、気温は低い。
尾根に上がる		南斜面は雪がないが北斜面は雪が着いていて、登路にも雪が着いて来た。
動物の足跡	11:25	熊だろうか、直径15cm程の足跡があった。鈴を持っていなかったので、時折大声 を出しながら進む。やや急な尾根で木を頼りに滑らないように登る。
霧久保沢コースと 合 わ せ る	11:47	左からかなりの勾配で上って来ている。そちらが北斜面でやや雪が厚い。トレ ースは無い。
茂 来 山 山 頂	11:55	誰も居ない。ここには雪が着いていなかった。晴れていて、やや風があるが、日 差しを受けて寒くはない。そのまま直進すれば四方原山へと続く縦走路である。 山頂下の松の木は余計な枝を落として綺麗に手入れされていた。振返れば浅間山 が良く見える。向かいには蓼科山と八ヶ岳と続くがピークは雲が掛かっている。そ の左奥に甲斐駒・仙丈が見えた。荒船山は特長的で分かったが、御座山は山が交 わり合っただけで分らなかった。
下 山 へ	12:50	下り始めるとすぐに同年代男女6人が登って来た。なんと三条から7時発と言う。 同じことを考えている者が居るもんだと驚いた。更に坂城町夫婦がやって来て、 その旦那は三条の出身だと言う。今日は三条に縁のある日だ。
登 山 口 P	午後 1:50	軽トラで森林組合職員が来た。2mの棒を持ち、枝打ちの高さを確認に来たとの ことだ。
松本浅間温泉へ		佐久市方向に戻り、立科町、三才山トンネルを経由して浅間温泉へ。伊藤園ホテ ルグループのホテルに泊まる。バイキング夕食・アルコール飲み放題・1人¥7,800 なり。豪華ではないが、格安でまずまずであった。 翌日は、青木村を経由し、上田 IC から高速に乗り、藤岡ハイウェイオアシスで花 を買い、関越道から帰宅した。

3年前の11月に同様の御座山に登っている。その印象は快適、絶景である。そして、エアリアマップの次頁に載って
いたこの山を目指すことにした。時間は短いものの、山頂は360度の展望を楽しめる山だ。八ヶ岳のピークは望めな
かったが、十分満足できた。